

震災から5年

原発事故と働く人の安全と健康

について考える学習会

未曾有の被害を生んだ東日本大震災から今年で5年となります。

オリンピックの開催による首都圏の建設需要にともない、資材の高騰や労働者不足などで被災地の復興が進んでいません。また、福島原発の収束のメドも立たないなか、収束作業に従事する労働者は、被曝線量をにらみながらの作業に経験を積むこともできず、タンクへの滑落事故など命の危険を伴う事故が続出しています。

「働くもののいのちと健康を守る全国センター」は、被災地の今と働く人たちの安全・健康について考える学習会として「原発事故と働く人の安全と健康について考える」学習会を開催します。被災地の今と健康問題について一緒に考えましょう。

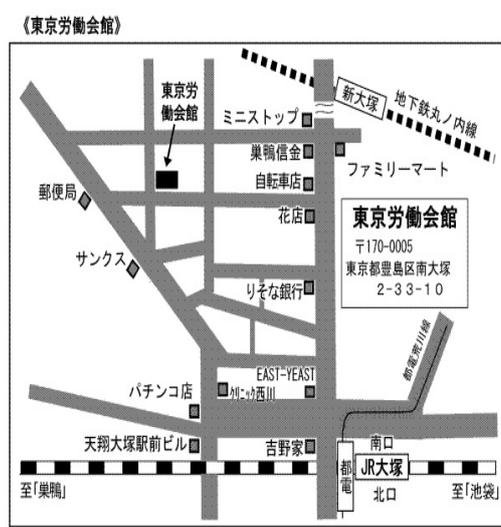
日時:2016年2月11日(祝)13:30~16:30 (受付13:00~)

場所:ラパスホール

内容:記念講演「原発労働者の今」
 布施祐仁氏(平和新聞編集長)
 ミニシンポジウム
 「原発事故と働く人たちの現状」
 シンポジスト(予定)
 宮城一般
 福島県労連
 福島農民連 に要請中

参加費:1000円

申込み:下記申込用紙を全国センターまで



主催 : 働くもののいのちと健康を守る全国センター 申込先

FAX 03-5842-5602

E-mail info@inoken.gr.jp

問い合わせ TEL 03-5842-5601 担当:岡村、仲野

氏名			所属		
連絡先	住所			F A X	
	電話	(できれば携帯)			